

授業科目	エアライン入門					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	高野 基子								
授業概要	実務家教員として、航空会社での客室乗務職経験や教育、マネジメント、組織運営の経験を活かして「エアライン」の魅力ある世界をわかりやすくみなさんに伝えていきます。 この授業は、航空業界の基礎知識を幅広くカバーし、学生が航空業界の全体像を理解するための基盤を築くことを目指しています。各回の授業では、グループワークを通して、空港や航空会社など空を舞台とする業界について学び、2年以降の「エアラインビジネス」での学習に必要な基礎知識を修得します。各回での活動を通して、資料や情報を収集する力、論理的に考える力、自分の考えを発表し他者の意見を聴く力を磨いていきます。								
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 空港施設の概要について説明することができる。 2. 航空会社の業務概要を説明することができる。 3. 積極的にディスカッションに参画できる。								
理想的レベル	1. 空港施設の概要について説明することができる。 2. 航空会社の業務概要を説明することができる。 3. 積極的にチームメンバーと協調し課題解決に取り組んでいくことができる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験									
小テスト			45			0			
レポート			30			0			
発表（口頭、プレゼンテーション）									
レポート外の提出物									
その他			25			授業参画姿勢など			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
航空業界に関する情報をインターネットや新聞などから収集すること。 毎回、授業後レポートを提出すること。									4
授業計画									
第1回	オリエンテーション ・ 講座の目的と目標 ・ 評価方法と課題の説明 ・ 航空業界の歴史								
第2回	空港施設と機能①								

	・空港の機能について 国内線ターミナル・国際線ターミナル ・グループワーク
第3回	空港施設と機能② ・空港に付帯する施設について ・グループワーク
第4回	空港施設と機能③ ・空港の利用者 顧客満足 ・グループワーク
第5回	航空機の設備と機能① ・航空機の歴史 ・飛行機の基本構造 ・グループワーク
第6回	航空機の設備と機能② ・機内の設備 ・グループワーク
第7回	日本の航空会社の歴史と概要 ・グループワーク
第8回	世界の航空輸送の発展① ・世界の航空輸送の歴史 ・世界の航空輸送の枠組み ・アライアンス ・グループワーク
第9回	世界の航空輸送の発展② ・グループワーク発表
第10回	エアラインに関連する会社とその業務① ・航空運送関連領域の業種について ・グループワーク
第11回	エアラインに関連する会社とその業務② ・航空運送関連領域の業種について ・グループワーク発表
第12回	安全への取り組み
第13回	航空貨物の現状 ～北九州空港の事例～
第14回	空港演習 学外活動あり
第15回	講座のまとめ 「エアラインビジネス」で学ぶことの概要
テキスト	エアライン・マネジメントー戦略と実践ー 日本航空株式会社 インプレス エアラインオペレーション入門 (株) ANA 総合研究所 イカロス出版

	エアラインビジネス入門 第2版 稲本恵子編著 晃洋書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業後レポートは、次の授業内でフィードバックする。 グループワーク発表についても、授業内でフィードバックする。 小テストは採点后、返却する。
課題に対するフィードバックの方法	「エアライン」について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。 「空」を舞台とする航空業界は、様々な業種で成り立っています。安全を大前提に、各社が独自性を追求しながら、人と人、地域と地域を結び、関係つなかりを創出する業界であるといえます。 そこには出会いと別れがあったり、人の想いが動く業界でもあります。 この講座では、空港や航空会社について、多くのグループワークを通して全体像をつかみ、エアラインビジネスを学ぶ上での基礎知識を習得しますが、 グループワークを多く取り入れているため、PC、タブレット端末等を持参することを推奨します。 また、日頃から航空業界に関心を持ち、上記参考図書や、新聞、インターネットなどから、自ら情報を取りに行く習慣をつけていきましょう。 ※第14回の空港演習は、日程が変更になる可能性もあります。 みなさんと一緒に、「エアライン」について学んでいくことを楽しみにしています。
学生へのメッセージ・コメント	